



特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.4

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第4号では、2010年5月～7月の活動内容、会員からの発信、部会報告、今後の活動予定をお届けします。

CONTENT		
活動内容		1 ページ
■ 2010/05/15	通常総会	1 ページ
■ 2010/06/12	第6回技術サロン (WPETF)	3 ページ
会員からの発信		4 ページ
■ 山本美子さん	第40回日韓技術士会議、第4回日韓女性技術士交流会のご案内	4 ページ
■ 花岡史恵さん	報告! 「徳島LEDアートフェスティバル2010 その1」	5 ページ
部会報告		6 ページ
■ 2010/05/11	第1回企画部会報告	6 ページ
会員の受賞		6 ページ
■ 山本美子さん	平成22年度日本技術士会 会長表彰	6 ページ
■ 高橋淳子さん	平成22年度日本技術士会 会長表彰	6 ページ
今後の活動予定		7 ページ
■ 2010/08/12～14	女子中高生夏の学校 2010	7 ページ
■ 2010/09/04	第7回技術サロン (WPETF)	7 ページ
■ 2010/10/16	日韓女性技術士交流会	7 ページ
■ 2010/10/23	見学会 (国立天文台 三鷹キャンパス)	7 ページ
■ 2010/11/13	シンポジウム	7 ページ
■ 2010/11/19～21	サイエンスアゴラ	8 ページ
■ 2011/07/19～22	ICWES15 (国際女性技術者科学者会議)	8 ページ

活動内容 (2010/05～2010/07)

■ 通常総会・講演会

◆ 日 時：2010年5月15日(土) 14:00～15:00 (第1部) 15:15～16:30 (第2部)

◆ 場 所：大田区産業プラザP i o 6階C会議室



理事長挨拶

◆ 概要：第1部の第3回通常総会は、正会員 117 名のうち出席者 17 名、委任状提出者 53 名、出席議決数 70 名であり、正会員の 1 / 2 以上に達しましたので成立しました。議長は理事長岩熊眞起、議事録作成人は氷上澄子、議事録署名人は、吉川サナエ、笹尾圭哉子が指名され、総務部会の犬走朱見の司会によりプログラム通り進行しました。各議案は以下のとおりで、各議案は担当理事である石田佳子及び角田ふで子が報告しました。議長は内容について賛否を議場に諮り満場一致をもって議案は承認されました。

- ・ 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告及び収支決算に関する件
- ・ 第 2 号議案 平成 22 年度事業計画及び収支予算に関する件
- ・ 第 3 号議案 第 3 期(平成 22～23 年度) 監事の選任に関する件
- ・ 第 4 号議案 定款変更に関する件

続いて、監査報告及び第 3 期（平成 22～23 年度）役員紹介が行われ、総会を終えました。第 3 期の役員は以下のとおりです。

理事長 岩熊眞起（留任）、副理事長 酒井一江（留任）、事務局長 石田佳子（留任）、理事 角田ふで子（留任）、理事 氷上澄子（留任）、理事 木村了（新任）、監事 関矢英士（新任）、監事 岩熊敏夫（退任）

第 2 部の講演会は、社団法人日本技術士会評議員の田中久雄氏が「女性技術士の会を外から見ていて - 面白きかな一人との出会い（ふとした事から、13 世紀モンゴルのバグダッド・ダマスкас陥落まで） - 」と題して、氏の人生における様々な偶然の出会いから生まれた人脈により、もたらされた出来事をお話しいただき、外に目を向けることの大切さ、組織の発展を図るための手かかりを示唆いただきました。

懇親会は、総会会場近くの中華料理店にて新監事の関矢氏、講師の田中氏も交え 19 名が出席し、歓談しました。



総会の様子



講演会講師：田中久雄氏



集合写真

新監事のご紹介 関矢英士氏

監事に就任した関矢英士（せきやひでし：機械）です。

1968 年に東芝に入社し火力発電所の基本設計業務に就いた後、自然エネルギー利用技術の開発業務に長年携わり、1995 年東芝プラントシステムに移ってからは、省エネルギー業務に従事して来ました。

1996 年に技術士を受験し、入会直後から機械部会に関わって、常設委員会の委員、理事（2 期目）など、日本技術士会の運営に参画しております。この間 2008 年には慶應技術士会を設立しました。



新監事：関矢英士氏

新理事のご紹介 木村了氏

この度理事に就任致しました木村了（きむらりょう）です。

技術士の部門は農業部門：農村環境ですが、元々は建築屋です。

昭和 52 年大学卒業後は建築事務所に勤務し、主に公共建築を手がけておりました。その後現在の会社（株）栄設計に転職し、次第に造園の仕事もこなすようになりました。会社が農業土木コンサルタントであったため、段々と造園範囲が広がり現在のルーラルランドスケープ（農村環境整備）の仕事に至った次第です。この他、東京農工大学非常勤講師、INWES-Japan 事務局長、執筆等の活動をしております。

■ 第 6 回技術サロン（WPETF）

◆ 日 時：2010 年 6 月 12 日（土）14：00～16：00

◆ 場 所：日本技術士会荳手第 2 ビル 5 階 C D 会議室

◆ 主 催：日本技術士会登録チーム WPETF（Women Professional Engineers Task Force）

◆ 参加者：プロジェクト側（氏名）岩熊、氷上、石田、笹尾、喜多、青木、磯打
一般参加者女子学生 3 名、社会人 3 名

◆ 経 緯：WPETF の主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE 課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもので、2008 年 11 月に初回を実施し、同企画で第 6 回目となります。

◆ 目 的：日本技術士会所属メンバーで構成する WPETF が主催する活動です。技術者を目指す女子学生が卒業後の自分の姿を思い描き、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供することを目的としています。

◆ 概 要：

1. 小講演「『技術士』資格に関する説明」（岩熊）

技術士とは何か、JABEE 課程と技術士制度との関係等に関して、基本的な事項をわかりやすく説明しました。また、女性技術士の状況（登録人数、近年の合格者数）をデータで示しました。

2. フリーディスカッション

アイスブレイク手法等を用いて、主催者・参加者ともに打ち解けたあと、小講演の内容や資料として準備したリーフレット等を題材に、技術者としての今までの経験や、学生として今後キャリアを積んでいく上で疑問に思っていること等について意見交換を行いました。



会員からの発信

■ 山本美子さん「第40回日韓技術士会議、第4回日韓女性技術士交流会のご案内」



下関市の海峡メッセ

日韓技術士の技術交流の場である日韓技術士会議は、日本と韓国で交互に開催されています。第40回という節目の今年は、山口県下関市の海峡メッセで開催されます。また、その関連イベントである日韓女性技術士交流会は第4回となります。

日韓技術士会議は、日本技術士会が主催で実行委員会が担当されていますが、日本技術士会中国支部、山口県技術士会が、地元の運営委員会として協力しています。また、会議前日のサッカー交流会の会場が北九州市内であることから、

日本技術士会九州支部のご協力もいただいています。私は、関西出身ですが、十数年前から山口県におり、山口県技術士会の幹事、地元運営委員として、本会議の準備への協力と、女性技術士交流会の準備を担当しています。

女性技術士交流会は、関連イベントとして本会の主催行事です。地方在住なので、会の行事にはなかなか参加する機会がなくて、繋がりが少なく心配でした。しかし、役員の方々のメールのやりとりで御意見をお聞きでき、広島県内の女性技術士2名、山口県内の今年の合格者の女性とも知り合い、私自身の交流の広がりを実感しています。

今年は、本会議が10月17日の日曜日、前日の女性技術士交流会は土曜日の夕方ですので、全国各地から来ていただきやすい日程となっています。多くの女性技術士、技術士補のご参加をお待ち致しております。日韓各1名の発表と質疑応答を中心に、参加者の紹介・挨拶・交流を行います。また、折り紙で組む箱作りをご紹介しますと考えています。交流会後の懇親会は海峡ゆめタワー29階の展望レストランを予定しています。関門海峡、巖流島などを見渡しながらビュッフェスタイルの食事をお楽しみください。



折り紙の箱

下関にお越しの際は長府庭園、赤間神宮、海響館(水族館)、九州に渡って、門司港レトロ地区など、ぜひ観光してってください。カモンワークでは、ふく(「不遇」につながる「ふぐ」ではなく「福」と掛け「ふく」といいます)の宅配ができますし、ウニ・トマトなど変り種ソフトクリームがあるのでいろんな味に挑戦してみてください。門司港では焼きカレーが人気です。



展望タワーからの関門橋

本州西端の山口県下関市での日韓女性技術士交流会へ、ぜひ、「おいでませ～！」

■ 花岡史恵さん 「報告！「徳島LEDアートフェスティバル2010」その1」

2010年4月17日(土)~25日(日)の夜、徳島県徳島市の中心市街地にある「ひょうたん島」において開催された「徳島LEDアートフェスティバル2010」は、予想以上の熱気と活気に包まれました。

人口約27万人の小さな都市で繰り広げられた「徳島LEDアートフェスティバル2010」は、会期9日間で、当初目標の来場者数10万人を遙かに越える20万人の来場者数と推察されました。

LEDが魅せるまち・とくしま

徳島LEDアートフェスティバル2010の開催に至るまでには、上位計画として、「LEDが魅せるまち・とくしま」が存在します。

この「LEDが魅せるまち・とくしま」は、徳島市の第4次総合計画に謳われ、「LED=徳島」というブランドイメージを確立し発信するための事業です。

徳島で何故LED?なのかと言えば、徳島は、LED(発光ダイオード)世界シェアの約25%、白色LEDにおいては世界シェアの約60%を占める、世界一のLED生産地域なのです。

また、徳島県では、「LEDバレイ構想」として、LEDの技術開発や企業集積を図る事業も展開されており、現在、徳島県のLED関連企業は84社に上っています。

そのLED王国である徳島をもっと多くの人に知ってもらいたいと、徳島市第4次総合計画に謳われた「LEDが魅せるまち・とくしま」のリーディングプロジェクトの1つとして計画されたのが、「徳島LEDアートフェスティバル」です。

私は、NPO法人 commons のメンバーとして、2008年度から、この「LEDが魅せるまち・とくしま」事業に関わり、「徳島LEDアートフェスティバル2010」の企画・調整・運営にも携わることになりました。

徳島LEDアートフェスティバル2010

徳島LEDアートフェスティバル2010は、徳島市の中心市街地を流れる新町川と助任(すけとう)川に囲まれた中州(通称「ひょうたん島」:形がひょうたんに似ていることから昔からその愛称で親しまれている)周辺を舞台に展開されたもので、27のLEDアート作品、6つのライトアップ事業、21のイベント事業で構成されました。

27のアート作品のうち、4つの作品は著名なアーティストによる作品で、そのうち2つの作品は橋の景観整備事業も兼ねた事業構成で進められ、その他は、一般と学生の公募による作品、作家等とサポーターズの協働による作品、県内外の大学生が協働して行った商店街の空き店舗を活用した作品展示等となっています。

中でも、橋の景観整備事業として制作された「SORAとMIZU」(両国橋)は、ライトアートの草分け的存在の逢坂卓郎氏(筑波大学教授)と、地元の阿南高専の研究室およ



写真1 「SORAとMIZU」(両国橋/逢坂卓郎)

び地元LED企業等との協働で制作され、宇宙光線の信号をLEDの光に変換するシステムや、LEDの点滅を制御技術によって見事な光のグラデーションに作り出すことにも成功し、新たなLED技術開発の可能性を確認しました。この新町川に架かる両国橋の作品は、常設されており、会期終了後も徳島の夜を彩っています。

つづく

部会報告

■ 第1回企画部会報告

◆ 日時：2010年5月11日（火）19:00～22:30

◆ 場所：淡窓庵事務所

◆ 参加者：青木、酒井、土岐、宮地、木村了、吉川

◆ 概要：

1 企画部メンバー確認

今年度の企画部メンバーは、酒井、青木、久保、千木良、土岐、平野、平永、宮地、吉川の9名。

2 22年度事業計画案の確認

大学、高専における女性の職域に関する講演会

ポートフォリオの編集

アンケートの取りまとめと公表 政策提言に繋げる。

見学会、シンポジウム等

3 アンケート、ポートフォリオの今後の作業について

・今後アンケートが50に近くなったら役割分担をし、作業を開始する。

4 研修会、シンポジウム、見学会

・見学会：天文台 10月23日（土）特別公開日に決定した。

・シンポジウムは11月頃予定。今年は、体験を取り入れた参加型にする予定。

5 その他

・今後の企画部会は2ヶ月おきの第2週火曜日とする。



会員の受賞

■ 山本美子さん 日本技術士会 平成22年度会長表彰受賞

会員の山本さんが「支部・部会活動等における貢献」として同表彰を受賞されました。受賞理由は、「中・四国支部広報委員会委員として広報活動を積極的に展開し、支部並びに本会の発展に貢献した」とのことです。

おめでとうございます！

■ 高橋淳子さん 日本技術士会 平成22年度会長表彰受賞

会員の高橋さんが「支部・部会活動等における貢献」として同表彰を受賞されました。受賞理由は、「衛生工学部会で、長年にわたり部会活動に積極的に参画し部会活動を支え、部会並びに本会の発展に貢献した」とのことです。

おめでとうございます！

今後の活動予定

- 女子中高生夏の学校 2010 ～科学・技術者のたまごたちへ～へのポスター出展
- ◆ 日 時：2010年8月12日(木)～8月14日(土) 当会の展示は8月13日(金)
- ◆ 場 所：(独)国立女性教育会館(〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地)
- ◆ 対 象：理系女子中高生
- ◆ 内 容：日本学術会議「科学と社会委員会科学力増進分科会」主催の同企画に、ポスター出展します。この企画は、女子中高生に理系の幅広い研究分野の魅力に触れてもらうと同時に、実際に企業や大学、研究機関等で働く科学者や技術者と交流することで、将来のキャリアイメージを掴んでもらうことを目的としています。

- 第7回技術サロン(WPETF)開催のお知らせ
- ◆ 目 的：日本技術士会所属メンバーで構成する WPETF が主催する活動です。技術者を目指す女子学生が卒業後の自分の姿を思い描き、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供することを目的としています。

- ◆ 日 時：2010年9月4日(土)
- ◆ 場 所：日本技術士会荻手第2ビル5階CD会議室
- ◆ 対 象：JABEE 認定課程履修及び技術者を目指す女子学生
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、懇話会(茶話会)
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 定 員：20名
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 wpetf@pej-lady.org

WPETF主催
第7回 技術サロン

女性技術士による
JABEE認定課程履修及び技術者を目指す
女子学生向け懇話会

地図

9月4日(土)10:00~12:30

場 所：(社)日本技術士会 荻手(フキア)第2ビル5階 CD会議室
※地下鉄日比谷線神宮前駅から徒歩5分

対 象：JABEE認定課程履修及び技術者を目指す女子学生

内 容：「技術士」資格に関する説明
懇話会(茶話会)

参加費：無料
定 員：20名
申込先：廣瀬 由紀 wpetf@pej-lady.org

女子学生のみなさんへ

- (社)日本技術士会 登録チーム WPETFが主催する技術サロンです。(WPETF: Women Professional Engineers Task Force)
- 「技術士」を何じですか?
- 女性のキャリア形成のこと、技術分野で働くこと、などなど。私たちが女性の技術士と笑顔にお話しませんか?

- 日韓女性技術士交流会
- ◆ 日 時：2010年10月16日(土)
- ◆ 場 所：下関市海峡メッセ
- ◆ 内 容：本号に掲載されている山本美子さんのご案内をお読みください。

- 見学会(国立天文台 三鷹キャンパス)
- ◆ 日 時：2010年10月23日(土)
- ◆ 場 所：東京都三鷹市大沢2-21-1
- ◆ 内 容：年に一回の三鷹キャンパスの特別公開を見学します。普段は入れない施設や実験装置の公開および成果の展示、講演会三鷹キャンパスに残る古い観測施設の見学などがあります。

- シンポジウム
- ◆ 日 時：2010年11月13日(土)
- ◆ 場 所：東京都港区浜松 1-14-5 コトブキ DI センター
- ◆ 内 容：未定

■ サイエンスアゴラ

- ◆ 日 時：2010年11月19日（金）から21日（日）出展は20,21日のみ
- ◆ 場 所：国際研究交流村（お台場）
- ◆ 対 象：一般。サイエンスアゴラとは、様々な人が集まってサイエンスのことを考え語り合う広場のこと。サイエンスとは、生命科学、理学、工学のほか広く人文、社会科学を含む広い意味。
- ◆ 内 容：NPO 女性技術士の会の活動紹介、WPETF の活動紹介、技術系の資格や技術士についての紹介

■ ICWES15（国際女性技術者科学者会議）開催のお知らせ

来年は3年に1回開催されるICWES15の年です！当会は第11回から参加しています。

- ◆ 日 時：2011年7月19日（火）～22日（金）
- ◆ 場 所：オーストラリア、アデレード
- ◆ 展示参加の締め切り：2010年12月1日（概要書提出）・・・これはポスター展示、技術発表する方のみです。
- ◆ 一般参加の申込期限：未発表
- ◆ 参加費用：ICWES15への参加費はまだ発表されていません。
- ◆ 参考：ICWES15HP：<http://www.icwes15.org/>
開催日は1年後ですが、申し込み締め切り等は早めなので今から予定しておきましょう。

広報部からのお願い - ニュースレター記事の募集 -

広報部では、年に4回、3ヵ月ごとにニュースレターを発行することを目指しています。昨年10月末に第1号を発行し、今回で4回目の発行となりました。今回から新たに、会員のみならずにもご参加いただけるニュースレターを目指して新コーナーを開始しました。

◆ 「会員からの発信」コーナーの開始

ニュースレター担当者から記事執筆のお願いがありましたら、是非、積極的に執筆くださいますようお願いいたします。

自主的な投稿も歓迎します。

◆ 執筆要領

内 容：技術的なもの、研究内容、趣味、そのほか（ジャンルは問いません）

分 量：写真を含めてA4で1ページ（文字数で1,000字程度）

なお、ニュースレターを外部へ配信する場合もあることと、そのために記事の査読（確認）をさせていただくことをご了承下さい。

◆ コンテンツの予定

毎号会員の執筆記事を掲載します。また、第5号（10月末号）から幹事の持ち回りでエッセイを掲載します。初回は岩熊理事長の執筆です。

今後のニュースレターにご期待ください。

みなさまからのご意見・ご感想をお待ちしています！

ニュースレターについてご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2010年第3号 通巻第4号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まき